

とちぎマイスター「建築大丁(大丁丁事作業)」の技能の例

高度な技術に培われた「在来軸組工法|

とし あき 俊明

鹿沼市 在住

(有)小林技建(TFI 0289-65-8022)



(現在の仕事)

「在来軸組工法 | による和風住宅の施工を得意としている。 また、業務の傍ら、鹿沼共同高等産業技術学校の指導員や、 業界団体の役員としても尽力している。

(得意な分野)

現場にて50余年の実務経験を積み、その間培った高度な 技能を駆使した「在来軸組工法」による和風住宅の建築を 数多く手がけるとともに、建築業界の要職に就くほか、災 害防止にも力を注ぎ、業界の発展に尽力している。

技能の向上は人づくりから

地元である鹿沼産の木材を使用し、木の良さを活かすよ うな設計・施工を得意としており、建築物コンクールに入 賞するなど、高い評価を得ている。

また、日本建築の優れた建築技能を伝承すべく、小中学 生のものづくり体験や鹿沼共同高等産業技術学校の指導員 として、熱意を持って指導にあたっている。

技能の向上のためには、技術の習得はもちろんのこと、

挨拶がきちんとでき、整理整頓をいかにしているかなど、 人としての基本が身についていることも重要である。若い 技能者の方々には、常に基本を守りながら鍛錬を続け、日 本建築の技術を継承していってほしい。

